

## 第 614 回：所属コースの決め方 (MI)

みなさんこんにちは。今回は 2 年次から所属するコースの決め方についてお話します。所属コースの決定は、自身が大学で深く学ぶ分野とはもちろん、3 年次に所属するゼミの選択にも関連します。しかし、入学とほぼ同時に始まる履修登録を何とかこなし、日々の授業に追われ、1 年目の大学生活も終わりが見えてきた、というタイミングでコースを選択する必要があるため、前もって希望コースについて考えておくと安心できます。今回は、前期試験期間、後期履修登録、そして後期試験期間のこれら 3 つを、所属したいコースについて考えるタイミングとします。では、それぞれのタイミングで考えたいポイントを見ていきましょう。なお各コースの詳細については、大学から出ている資料を参考にしてください。

1 つ目のタイミングは前期試験期間です。この期間は初めての試験期間となり、専攻の授業の試験に加え、学科基礎科目や全学共通科目の試験、レポートなど、やらなければならないことが山積みとなる時期です。しかし、試験やレポートのために授業内容を復習するタイミングで、授業の感想も振り返ってください。単純に内容が面白かった授業、自分で調べたいことが見つかった授業、少し興味を持てた授業、あまり自分には向いていないかもしれないと感じた授業等、自分がそれらの分野について今後も大学で深く学びたいかどうかを考えてみます。そしてその上で、後期開始直後の履修登録に挑みます。

さて、2 つ目のタイミングとなる後期履修登録ですが、多くの人が前期の履修登録の時点で後期分の登録も済ませていると思いま

す。前期に面白いと感じ、後期も開講される授業であれば、引き続きその授業を取りましょう。ですが、前期ではあまり興味が持てなかった内容でも、後期で扱われる内容によっては自分とマッチするかもしれないので、安易に登録を消さず、シラバスをぜひ読んでみてください。そして、授業には前期あるいは後期の半期しか開講されないものもあります。前期の時点で後期開講授業を見つけられていない可能性もあるので、このタイミングで必ず確認してください。また、前期では興味がなかったけど、後期になって面白そうだと思う授業も出てくるかもしれません。授業によっては前期後期と通年の履修を推奨されている場合もありますが、気になった授業はどんどん受けてみましょう。

最後のタイミングは後期試験期間です。ここでも前期試験期間と同様に、授業の感想を振り返ってみます。さらに、試験やレポート、発表の準備中に、その分野について書いたり悩んだりするのが楽しいか、2 年後、3 年後も深くやってみたいかどうかを、少し想像してみます。自分の中でイメージが湧くかどうかは大きなポイントになりそうです。

このように 1 年の間で振り返る時間があれば、希望コースは決まりやすくなるかと思えます。もちろん、所属コースが決定した後も他コースの授業の履修は制限されません。せっかく大学に来ているので、自分が知りたい、深めたい内容をぜひ追い求めてください。